令和7年 第3回 定例教育委員会 議事録

- 1 開催日時 令和7年3月24日（月）午後1時30分～
- 2 開催場所 豊見城市役所 4階 第1会議室
- 3 出席者
[委員]
教育長 教育委員4名

[事務局]
教育部長 教育総務課長 学校教育課長 学校施設課長 文化課長 生涯学習
振興課長 学校教育課参事
- 4 欠席者 0人
- 5 傍聴人 0人
- 6 教育長の報告の要旨 別添教育長業務報告
- 7 議題及び議事の概要 次のとおり
- 8 議決事項
豊見城市立学校給食センターの管理運営に関する規則の一部改正について
臨時代理について（令和7年4月1日付け教育委員会職員の人事異動について）
臨時代理について
（豊見城市立学校給食センター運営委員会の委員の委嘱について）
令和7年第2回豊見城市議会定例会一般質問について
- 9 教育長又は会議において必要と認める事項

◎ 会議の要旨

<p>教育長</p>	<p>これより、令和7年第3回定例教育委員会を開催します。</p> <p>それでは、日程第1の会議録署名委員の指名であります。本日の会議録署名委員は宮城委員を指名いたします。よろしく願いいたします。</p> <p>続いて、日程第2の会期日程ですが、1日としてよろしいでしょうか。</p>
	<p>(「はい」と呼ぶ者あり)</p>
<p>教育長</p>	<p>それでは、会期日程は1日とします。</p> <p>次に、本日の議題ですが、お手元に配付しております議事日程に沿って進めてまいります。</p> <p>続きまして、日程第3の議題に入ります。教育長の業務報告を行います。本日は日程が多いため、説明を省略させていただきます。資料をご確認くださいようお願いいたします。</p> <p>続いて、日程第4の議案第6号 豊見城市立学校給食センター管理運営に関する規則の一部改正についてであります。事務局、説明をお願いいたします。</p>
<p>学校教育課長</p>	<p>学校教育課からです。新規事案として、豊見城市立学校給食センターの管理運営に関する規則の一部を改正する規則についてを上げさせてもらっております。添付書類で説明いたします。議案第6号と書いているページをお願いします。下のほうを読み上げます。提案理由です。給食費の月額について、昨今の物価上昇の影響等により、令和7年4月から改定（小学校300円、中学校及び給食センター関係職員400円の増額）を予定しているため、金額を改正する必要がある。これが本案を提出する理由となっております。</p> <p>次に、改正する規則の概要のページで説明したいと思います。2番の改正理由のところをお願いします。小中学校及び小中学校の関係職員、給食センター関係職員の給食費について、昨今の物価上昇の影響等により令和7年4月から改定（小学校及び小学校関係職員：300円、中学校、中学校の関係職員及び給食センター関係職員：400円の増額）を予定しているものでございます。なお、児童生徒の学校給食費について、小学校について学校給食費保護者支援事業において市が2,300円負担し、中学校については沖縄県公立学校給食費無償化支援事業において沖縄県が3,000円負担する内容でございます。</p> <p>改正内容です。別表にもありますが、（1）小学校及び小学校の関係職員「5,000円」を「5,300円」に改める内容です。（2）中学校、中学</p>

	<p>校の関係職員及び給食センター関係職員が「5,600円」を「6,000円」に改める内容でございます。</p> <p>附則として、(1) 小学校の特例措置として「4,000円」を「3,000円」に改める。中学校「4,500円」を「3,000円」に改める。これは保護者が負担する内容でございます。施行期日が、令和7年4月1日を予定しております。</p> <p>あとは同じような内容となっておりますので、割愛したいと思います。説明は以上です。</p>
教育長	ありがとうございます。事務局の説明がございましたが、この内容についてご質問がありましたら委員の皆さん、挙手をお願いいたします。
宮城委員	確認です。小学校が4月から5,300円、中学校が6,000円、そのうちの市の負担が2,300円ということになると3,000円の徴収なんですけど、それは県が負担するので、ということですか。
学校教育課長	小学校については、市が助成するものでございます。中学校については県が助成するものでございます。
宮城委員	ということは、実質給食費は。
学校教育課長	小学校も中学校もどちらも3,000円が保護者負担という形になります。
宮城委員	均一になるということですね。分かりました。ありがとうございます。
備瀬委員	関連して。
教育長	備瀬委員。
備瀬委員	結局は市の支援事業のほうからは、この補助がなくなるということで理解してよろしいのでしょうか。県から3,000円の補助があるので、従来だったら中学校のほうも市のほうから支援事業で引かれているんですけども、今回はそれがなくなっていく感じがするんですけども。
学校教育課長	はい、そういうことになります。
教育長	ほかにございませんか。田名委員。
田名委員	コロナ前に私は何度か中学校の給食を食べる機会が何度かあったんですけど、それを食べるとすごくおいしくて、だけど先生方、職員の皆さんはちょっと足りないかなという質問をしたりとか、いろいろやったんですけど、先生方はこれに慣れますよということだったんですけど、小学校は食べたことはないんですけども、小学校と中学校は量はもちろん違いますよね。職員の量もまた違うということですが、この3,000円は職員と保護者が払う金額ですよ。

学校教育課長	学校職員というのは、基本助成措置はございませんので、増額した額の小学校であれば5,300円、中学校であれば6,000円支払うという形になります。
田名委員	そうですね。理解しました。ありがとうございます。
教育長	ほかにございませんか。
備瀬委員	さっきの件ですけれども中学校です。市のほうから1,200円の負担金は必要なくなったということなので、県からあるから市からは補助をしないということなんでしょうか。確認です。
学校教育課長	1つは、これまで栄養充足が満たされていないという観点から支援を行ってきたというところではありますが、中学校に関しては、これまで市が支援していた以上に県のほうが助成できるというところがありますので、市のほうからの助成は中学生に対してはございません。一方、小学生に対しては県からは何の助成もございませんの、そこは小学校のほうを我々は手厚くしたほうがいいんじゃないかということで、小学校の助成を検討してきたということでございます。
備瀬委員	ということは、もう中学のほうはないということで理解していいですね。保護者目線で考えたら、両方からあったらなおよかったのになど、困窮者の側から見たら思ったんですが。
学校教育課長	一方の小学生について何もしないというわけにはいかないんじゃないかという議論もあったので、そのようにしております。
教育部長	実は、困窮世帯については就学援助世帯がおおむねありまして、そこについては既に給食費はゼロになっていますので、かなり本当に困っている世帯に関しては、そこは支援としては届いていると考えているところです。
備瀬委員	今回困窮だけじゃなくて、大分今回物価高のほう也相当続いているので、収入はあるにしてもかなり経済的な負担が大きいということで、この1,100円というのは結構保護者にとってはありがたい額だったかなと思ったので、これがなくなるということは少し気になるなと思いました。以上です。
学校教育課長	そこについても、従来の就学援助以上にうちはもともと1.3倍で見ていたところを1.5倍まで拡充しているという部分もありますので、それと抱き合わせながら、引き続き支援に努めていきたいと思っております。
備瀬委員	分かりました。
教育長	ありがとうございます。ほかに質問はありませんか。では、ご質問は

	以上で終了としてよろしいでしょうか。
	(「はい」と呼ぶ者あり)
教育長	議案第6号 豊見城市立学校給食センター管理運営に関する規則の一部改正については、提案どおり決定ということでよろしいでしょうか。
	(「異議なし」と呼ぶ者あり)
教育長	<p>それでは提案どおり決定いたします。</p> <p>続きまして日程第5の承認第3号 臨時代理について(令和7年4月1日付け教育委員会職員の人事異動について)であります。事務局、説明をお願いします。</p>
教育総務課長	<p>教育総務課、赤嶺です。では説明させていただきます。提案理由につきましては、豊見城市教育委員会の権限に属する事務の一部委任等に関する規則第2条第1項第5号の規定において、教育委員会の議決事項とされているところではありますが、緊急を要し教育委員会に付議する暇がないと認められるため、同規則第4条の規定により、別紙により臨時代理を行っております。同条後段の規定に基づき、教育委員会に報告し、その承認を求めます。</p> <p>次のページをご覧ください。3月14日付で臨時代理書を教育長名で行っているところです。</p> <p>次のページをご覧ください。人事異動の内示書になっております。こちらのほう、各職員の名前が表になって記載されているんですけども、中段のほう、教育指導課というところで、新しく新設課があります。そちらのほうは転入ということで、職員が配置をされているんですけども、基本、学校教育課及び教育総務課の職員が異動対象となっております。新設課において新しく課長が配置されることになっておりますが、課長職として指導主事が来年度より配置されるということになりまして、平田課長のほうが、現長嶺中の教頭先生の平田さんが配置されることになっております。管理職の異動については、学校教育課長が異動となっております。残りの職員については表のほうをご覧くださいと思います。説明は以上となります。</p>
教育長	ありがとうございます。事務局の説明がございましたが、この内容についてご質問がありましたら、委員の皆さん、挙手をお願いいたします。
宮城委員	課の新設があったということなのですが、もし差支えなければそれぞれの課の構成員の人数を教えてくださいたくことは可能でしょうか。もし、分からなければ後でも大丈夫です。

教育総務課長	今ちよっと組織図を確認するので。
教育長	部長、お願いします。
教育部長	教育委員会は、教育部、私を含めまして49名になります。教育総務課が課長以下4名、学校教育課が課長以下8名です。教育指導課が指導課長を含めて11名になります。学校施設課が課長を含めまして5名になります。生涯学習振興課が課長含め11名、文化課が課長を含め9名、私を入れて合計49名という形になります。
宮城委員	どうもありがとうございます。
教育部長	基本的には教育総務課から事務が、ICT関連が教育指導課に移ること、あとは学校教育課から若干事務分掌が移るというところで、今回は多分陣容としては教育指導課は大きい課に、新設課ではありますけれどもなるという形に、2班ですね。行政の班長がどちらもつきますので、そういう意味ではその指導班の強化になっていると理解しているところ です。以上です。
宮城委員	ありがとうございます。
教育長	ほかにございませんか。備瀬委員。
備瀬委員	感想です。今回、教育指導課が新設されることをとてもよかったと 思っております。昔からこれは懸案事項ではなかったかなと思ってい て、この指導課が新設されて、より学校教育のほうも強化されるのかな と大きな期待ができると思いました。よかったと思います。以上です。
教育長	ほかにございませんか。では、ご質問は以上で終了としてよろしいで しょうか。
	(「はい」と呼ぶ者あり)
教育長	承認第3号 臨時代理について(令和7年4月1日付け教育委員会職 員の人事異動について)は、提案どおり承認ということによろしいで しょうか。
	(「異議なし」と呼ぶ者あり)
教育長	それでは提案どおり承認といたします。 続いて日程第6の承認第4号 臨時代理について(豊見城市立学校給 食センター運営委員会の委員の委嘱について)であります。事務局、説 明をお願いします。金城課長。
学校教育課長	臨時代理について(給食センター運営委員会委員の委嘱)でございま す。提案理由のところを読み上げます。当該事案については、豊見城市 教育委員会の権限に属する事務の一部委任等に関する規則第2条第1項 第7号の規定において教育委員会の議決事項とされているところであり

	<p>ますが、緊急を要し、教育委員会に付議する暇がないと認められたため、同規則第4条の規定により別紙のとおり委任代理を行ったものでございます。学校給食センターの運営委員会については、給食費の検討をする場でございますが、先ほど説明した給食費については、当初予算の折衝の中で財源を含めてなかなか最後までお示しすることが難しかったため、2月の最終内示まで待って3月に学校給食センター運営委員会を開催する運びとなりました。そのためこの時期になったことから、教育委員会に諮る暇がなかったため、この時期の委嘱となっております。メンバーにつきましては教育部長と学校長、学校のPTA会長、そして学校栄養教諭のメンバーとなっております。メンバーについては別資料でご確認いただければと思います。以上です。</p>
教育長	<p>ありがとうございます。事務局の説明がございましたが、この内容についてご質問がありましたら、委員の皆さん、挙手をお願いいたします。宮城委員。</p>
宮城委員	<p>質問です。資料を開けて2枚目の見出しのほうに、令和6年度となっているんですけども、これは令和6年度で間違いはないですか。</p>
学校教育課長	<p>6年度の3月に作成したものになりますので、年度としては今年度の6年度です。</p>
教育長	<p>開催したときのメンバーが載せられているということですね。</p>
宮城委員	<p>ということは、この中からまた異動があるということですよ。</p>
学校教育課長	<p>そうですね、任期としては2年となっておりますので、その役職が変わった方が来られたら、その残任期間を担うという形になります。</p>
宮城委員	<p>分かりました。退職される先生方の名前があったりしたものですから、令和6年度でいいのかなとちょっと疑問に思ったので、質問させていただきました。</p>
備瀬委員	<p>関連していいですか。3月にしたのは理由があるんですか。今言うように分かりにくいような感じ。入れ替わったりするでしょう、役職でも。だから、これは令和7年度4月1日からとかという。</p>
学校教育課長	<p>先ほどもちょっと説明したんですけども、給食費について議論する場となっているのがメインとなっているんですけども、次年度の給食費の財源だとか、幾らにするかだとかというのが、結構最終内示までもつれたものですから、この時期にしか開催できないという経緯がございまして、本当は1月とかに開催できればと思っていたんですけども、先々週に会議が終わったんですけども、3月1日付の委嘱という形になったという経緯でございます。</p>

教育長	ほかにございませんか。田名委員。
田名委員	先ほど小学校、中学校の校長先生がなっているという話をしたんですけども、PTA会長に関してもPTA会長がなるのが通例みたいな感じになっているんですか。
学校教育課長	そうですね、この運営委員会の規則があるんですけども、その中で組織としては校長、PTA会長、教育部長、栄養教諭ですね。必要に応じて学識経験者等が入りはするんですけども、本来はこのメンバーで委嘱したいと思っています。
田名委員	PTA会長に関しては、私も知っている方が何名かいて、PTA会長をもう卒業というか、辞める方も何名かいると思うんですけども、通常PTA総会が新年度始まって5月ぐらいだと思うんですが、5月にまた新しいPTA会長が担ったときには、その方がおのずと充て職みたいな感じで。分かりました。ありがとうございます。
教育長	ほかにございませんか。では、ご質問は以上で終了としてよろしいでしょうか。
	(「はい」と呼ぶ者あり)
教育長	承認第4号 臨時代理について(豊見城市立学校給食センター運営委員会の委員の委嘱について)は、提案どおり承認ということでよろしいでしょうか。
	(「異議なし」と呼ぶ者あり)
教育長	それでは提案どおり承認といたします。 続いて日程第7の報告第1号 令和7年第2回豊見城市議会定例会一般質問についてであります。事務局は説明をお願いいたします。
教育部長	それでは、一般質問の要旨が配られてあると思います。それに従っていききたいと思っております。今回20名のうち15名から質問が出ておりました。順次、順番にご説明していききたいと思っております。 まず1番目、波平議員です。(1)教育行政についてということで、スポーツ庁より重点施策の部活動に関する地域展開について、現状の課題等を踏まえてどうなのかというところがございました。この件については今いろいろ取組を、説明会へ参加をしたり、関係課と話し合いをしたり、先行自治体のうるま市との情報交換だとか、あと県の事業担当者を招いての勉強会などを開いて情報収集をしております。また、アンケートも部活動の支援に関するアンケートも、地域移行に関するアンケートも実施をしたということでもあります。今後の課題としては、受入れ競技団体の在り方だとか、指導者及び部活動の確保、予算等が挙げられるな

と。今後こういう関係課と調整を進めていくというふうにお答えをしたところ。2番目、教職員の業務効率化、教育活動高度化の観点からクラウドサービスを用いた校務DXを積極的に推進していくべきではないかというようなご意見がございました。本市としても現状の取組状況を、今後校務支援の方針に向けた取組をしていくということでありましたので、その旨をお答えしているところでございます。③本市教育における「STEAM教育」についてということですが、基本的には教育指導要領が改正になって、本市の小学校では2020年から、中学校では2021年からもうSTEAM教育が学校教育の中でも全面実施されている旨をご説明をした上で、教育委員会としては今後授業改善をして、各学校の多様な実態を踏まえた魅力ある学校づくりの支援や、ICTを活用した学習を推進していくということでお答えをしたところでございます。また、教育長は加えて、豊見城版のSTEAM教育というのを、もともとのSTEAMではなくて豊見城にあった形での別の形のSTEAMということでありました。ここは後で、補足でしゃべっていただけたらと、お願いします。ということをお答えしたところです。

次、(6) 伝統文化の継承及び発展についてということで、伝統文化親子教室事業の件を知ったらしく、豊見城の状況はどうなのかということがありました。本市では生け花教室、この事業を本市を通して申請をして採択されて実施をしたところでありました。子どもたちに体験をする場面を提供して発表会をするというような、そういう事業なんですけれども、これはもっと宣伝するべきではないかというご意見になりましたので、今後また広報やLINEを使って周知をしていく旨、お答えをしたところでありました。

次、2番目の宜保安孝議員です。(1) 伊良波中学校長寿命化事業についてということで、基本的にはこの伊良波中学校が古くなってきているので、リノベーションというか、その大規模改修をいつぐらいにどんなふうにするのかというようなご質問でありました。その関連の質問でありましたので、ちょっと細かくお答えは省略したいと思います。基本的に次年度、このリノベーションというか、中学校の長寿命化に関する基本的な事項の調査の予算がつかまりましたので、その中でおおむね何年ぐらいかけてどのような内容でというふうな形の検討をすると言って、先に進めていきたいということになっております。伊良波中を先にして次に長小という順序になっていくかなと思っております。

次に、(3) 修学旅行についてということで、①から③の質問をされているんですが、要するに聞きたかったのは、森林環境譲与税を使って

ジャングリアだとか、やんばる学びの森に子どもたちを行かせられないかという視点で説明でありました。①と②については、基本的には学校で決められておりますので、教育委員会としてはここは学校にお任せしている状況ですという状況と、③については森林譲与税、例えば那覇市内ではこれが使えないかという質問も出ていて、可能性はないことはない状態であります。本市の森林環境譲与税、これは森林の理解だとか木製品を利用していくという形で年に幾らか、650万円ぐらい入ってくるお金があるんですね、毎年。なので、それを続けていく。この前、新年度の予算のところでもご説明したように、本市では豊小の理科教室の椅子だとか、ああいったのを更新するというところで、今回財源を使ってやっております。こういった修学旅行にも活用できないかという提案でありましたので、検討するという旨をお答えをしたところでございます。

次に3の新垣龍治議員なんですけれども、(1)こども施策ということで、令和7年度学校給食費の保護者負担軽減についてということでご質問がありました。お答えしている内容は先ほど金城課長と質疑でやり取りをした内容についてお答えをしたところでありますが、この新垣龍治議員は共産党会派でありますので、基本的に県が中学校の半額を出したのであれば中学校のほうから無償化をするべきではないかというようなご意見でありました。しかしながら、一方では本市の子どもたち5,000名余り小学生がいますので、まず小学生のほうから均霑をさせて、県や国の施策の展開を見ながら中学校をさらに無償化に向けて進めていくという方向性の議論でお答えをしているところでございます。

次に4番目、大田善裕議員はなくて、5番目の吉濱議員です。(2)スポーツ振興についてということの③豊見城市の陸上競技場の施設整備についてということで、トイレ、シャワーの整備とナイターの設置状況についてということでありました。思いとしては、吉濱議員自体がサッカーに関わっていて、やはりサッカー利用団体等からそういった意見があるのでということで質問でありました。なかなか整備が進まないというような状況でしたので、今現時点では、教育委員会としてもいろいろ、これを仮にコンテナタイプのもので仮置きをして、今後は森ヌ風Spo-Park構想の中でも全面的な改修を予定しているので、それまでの間、そのコンテナとかあるいは箱を置いて、簡易トイレ、シャワー室等の設置に向けた予算を獲得したいということで提案しているんですけれども、なかなか予算措置まではつながっていないということをご説明しているところです。ナイターについても大規模改修、抜本的な見直しを

考えているということで、これをリースでナイターの照明をつけられないかということは原課のほうから予算要求等をしながら上げているんですけれども、なかなか予算措置まで至っていないという状況についてご説明をして、引き続き予算措置に向けて取り組んでいきたい旨をご説明したところです。答弁調整の際に、基本的には市長、副市長のほうからは、プレハブでの設置も含めてどこか実施しているところはないかということで、うるま市のほうへ視察に行きたいという話がありましたが、うるま市は今いい施設ができて、かつてシャワー室だとかトイレを使っていたものが倉庫になっているということなので、これが視察にまだ至っておりませんが、今後ちょっとそういった方向性も含めて、積極的な検討を進めていきたいと考えております。

次6番目、新垣亜矢子議員、(1)はたちの集いについてということでご質問がありました。市で主催することについてということで、亜矢子議員は一貫して、実行委員会形式ではなくて市で主催をするべきであるという思いを持って質問をされております。前回も委員会の委員の負担が大きいということで、今回開催のさきのはたちの集いでは、生涯学習振興課が各中学校区に担当職員を置いて、手続の簡素化だとかサポートについて支援を行ったところでありました。次年度はその実行委員会形式でありますと10万円では足りないというお話がありましたので、1中学校当たり10万円を増やして20万円にしているという状況もあります。ただ、一步進んで市でやるべきではないかということでありましたので、次に向けては、早い時期に実行委員会のメンバーに集まっただいて、市のほうからもその中央公民館での時間差の開催、市の主催で、実行委員会形式でやるとしても時間差で中央公民館でやるなど、今後統合に向けた動きもしながら進めていくことも考えていきますということでお答えをしているところでございます。

次7番目、長嶺吉起議員、(1)学校教育環境整備についてということで、豊小のグラウンド整備と日除けネットの設置についてということであります。基本的には豊見城小学校については、水はけがちょっと悪くて、ちょこちょこ手入れをして改善したりしているんですけれども、まだちょっと水がたまっていたり、表土が流れてしまって固くなっているような現状があります。今は計画的にグラウンドについては整備をしていきたいということでお答えをしています。それに先立って、学校施設に関しては長寿命化計画というのがあって、どの順序で整備をしていくということが一応予定としてはあるんですけれども、学校のグラウンドの状況だとか、そういったのを総合的に見ながら、場合によって緊急

度が高ければ、その順位を変えるなどして取り組むということでお答えをしているところでございます。ちなみに、豊小については次年度にグラウンドのクレイ舗装の見直し等も含めて実施する予定になっております。また小学校のプール日除けネットについては、いろいろ学校から要望がありましたが、基本的にはないところについては次年度に取り組むということ予算取りができております。ただ、ゆたか小学校についてはもう既に設置してあったんですが、台風時に学校がしまい忘れて壊れていて、それが10年に満ちていないので基本的に一括交付金が使えないという状況があって、ここは今後要検討ということになっているところでございます。

(2) 教育行政についてということであります。市内小中学校の①については、探求型学習を推奨し支援を行ってほしい。長嶺中学校等がその総合教育において探求型学習で民間事業者の力を借りて実施しているということがありまして、これが児童生徒1人当たり2,000円ぐらいかかるというものを今実施しているということで、これを市として支援ができないかということでありましたが、うちはそれをどうするかということも含めて、いろいろな支援を学校に対してやっているのですが、予算や効果についてを含めて検討するというところでお答えをしているところでございます。次、この(2)の③ですが、教育心理テスト、今本市はQUテストを実施しておりまして、不登校対策でもご説明したように、そのうち1回をhyper-QUに変えていくということがありました。ほかにもいろいろな心理テストがあるので、そこの導入の可能性の検討をしたのかも含めて質問がありました。詳細な検討ということではございませんが、各テストを比較した結果、QUテストが今一番学校で浸透していて、効果についてもあるだろうということで、これを1つhyper-QUに変えていくということでの話をしたところです。個々必要に応じ検討していく旨をお答えしているところです。④スクールソーシャルワーカーの配置体制、ケースの割り振り方の7年度計画を伺いますということでありました。これについては、基本的にスクールソーシャルワーカーについては、小学校については主に配置できているんですけども、中学校区に関して4校あるにもかかわらず3名だということが課題としてあって、本市としてもこれに取り組んでいるところでありまして、他の支援員の一括交付金の予算との関わりの中で、今回3名になっているということと、今後は不登校対策を進める中で検討していくということで答弁をしたところでございます。⑤就学援助費、特に修学旅行費の支給方法について、いろいろ見直しができない

かということでご質問がありました。これは多分学校現場からPTA等から話があったと思うんですが、今回一部の学校で就学援助世帯が実際全額負担した後、支払いがなされると。支払いがあつて後から払われるということがあつて、そこの改善を求めるということでありました。基本的にはその学校サイドのほうで前もって申請していただければ前もって払えるんですが、そういった手続が今回、ちょっと一部の学校でできなくてそういったことになっているということで、今後学校にも周知をしながら改善をしていくという旨をお答えしたところでございます。

(3) 家庭教育・地域教育力の向上についてであります。基本的には専門職員の配置、家庭教育支援事業についてのこと、地域コーディネーターの件をお聞きになられておりましたが、おおむね社会教育団体、特に長嶺吉起議員は子ども会の役員でもあるようですので、そういったことでの支援が必要であろうということでご質問したというふうに理解をしているところであります。そのことについては、そのサポートについては今後とも検討していくと。専門職員の配置については、職員の全体配置の議論がありますので、引き続き検討させていただきたいという旨のお答えをしております。家庭教育地域支援事業の取組内容については、現状で取り組んでいる研修等の内容をご説明申し上げて、今後とも取り組んでいくということでお答えをしているところでございます。また、地域コーディネーターの人員増につきましては、体制の強化は必要だということでお答えをしたところでありますが、まずそのコーディネーターを担えるような方、人材の確保がまだうまくいっていない理由だとか、あと処遇改善が先に必要であろうということもありまして、そこを取り組むということでお答えをしているところでございます。

次に(4) 地域創生及び人材育成ということで、OISTの話がありました。ここは質問まで至りませんでした。ここはもう、教育委員会としてどう取り組むかということについては、具体的な検討はないんですが、市としてOISTと包括連携するようなことになれば、積極的な取組をしていこうということでお答えするつもりでございました。

次8番目です。要正悟議員です。小中学校の給食費について①、②は基本的にこれまでの取組状況と次年度以降をどうするかというところの視点で質問がありまして、おおむね先ほど金城課長が説明した支援内容であるということと、国、県の状況を鑑みながら無償化についても積極的に進めていきたいということをお答えしているところです。

(2) 教育行政についてですけれども、①小学校のクーラーについてです。座安小学校の実務教室でクーラーがまだ直っていないというの

が、1年ぐらい直っていないというのがあって、3月末で修繕は終わるんですけども、その件でちょっと気になるということで説明をしております。お答えしているのは基本的に、いろいろな状況があってクーラーが故障するようなことがあった場合、室外機と室内機が一緒になっている1対1で対応しているものについては、その都度予算を使いながら修繕をしているんですけども、学校によっては、1つの室外機に室内のクーラーが何台もぶら下がっている、マルチと言われている方法を取っているものがあります。それは、室外機が壊れるともう中の室内機が何台も効かなくなると、座安はそういうような状況にあるんです。それはもう一気に変えないといけないので、かなり予算をもらってその都度修繕ということではなくて、それをまた入札にかけて予算執行して、業者を決めてというような手続があって今回遅れているんですが、その旨を説明しながら、できるだけ早い時期に対応できるようにしていきたいということでお答えをしているところであります。

(2) いじめ対策マイスターについて、これは文科省がいじめ対策マイスターを全国に何か所か配置をしていくという事業になります。ただ、数が少ないので、うちとしては対応が分かり次第、手が挙げられるところについては手を挙げていきたいとお答えをしたところでございます。④児童の安全確保についてということで質問をしております、これは要正悟議員がいろいろ保護者あたりから子どもが……、知っている大人から金銭を巻き上げられそうになったり巻き上げられたりしている事案が少しありまして、それに対して教育委員会は把握しているのかということと、対応はどうしているのかというところで、把握をしている旨と対応している旨をお答えしているところになってございます。

次9番目、真栄里保議員です。戦後80年の取組ということでご質問がありました。沖縄戦VR、先ほど新年度の予算でも説明をしたところでありますけれども、今年度、次年度の80年に向けてVRのコンテンツを今文化課は取り組んでいるということと、平和教育も文化課を通していろいろな場面で取り組んでいる、6月から8月にかけてしている内容、あと戦争遺跡の活用についても今後取り組んでいきたいというところをお答えしているところでございます。

続きまして10番目はありませんでした。関連はありましたが、(2)(3)を見ていただけたらと思います。ここは(2)のところは市長部局のほうに振られておりますが、歯科口腔保健の推進に関する条例は3月議会で可決されまして、新年度以降、具体的な計画がなされていくということでありまして、フッ化物の応用、フッ化物洗口も含んだ形で多分

検討がなされるだろうなと思っておりますが、新年度ちょっと健康推進課とも協力をしながら進めていきたいと思っております。(3) 瀬長島球場、これは瀬長島の4面球場、これは今教育委員会が管理をしております。これについては今、瀬長島の振興計画の中で交通状況が悪いということで、あそこを駐車場にして4面球場を別の場所に移転をするという動きが今出てきております。それについての取組ということでありまして。これは現状としては、その候補地の検討ということをコンサルに委託するというのが動き出しております。今後少しここが具体化してくると、いろいろな動きが出てくるかなと思っております。

次11番、瀬長恒雄議員です。(3) 防災・減災対策についてということで、②体育館のクーラー整備についてということで、小中学校の体育館のクーラー整備状況を伺うということで、市内の小中学校全校、体育館でのクーラー整備がない旨をお答えしております。これは全般に今国が避難所の機能強化ということで、体育館の空調の整備について力を入れているので、新聞報道でもご存じの方はいらっしゃると思いますが、県内はほとんど手上げがなくて、先日南城市が手上げをしたということであります。ここら辺の話での絡みの中で、整備するべきじゃないかということの方向性で質問がなされて、このイからウは防災のほうで答えております。やはりコストがかかっていくというところがあって、ここら辺がネックになっているということで説明されているものと理解しています。

(4) スポーツ振興についてということで、②で陸上競技場のナイター設備の整備状況ということなので、これはもう先ほど質問があった方と同じように、現状では今は整備まで至っていないということで説明をして、今後とも予算措置に向けた取組ということで説明しております。

(6) 高校受験対策講座についてということでありましたが、時間切れで質問はございませんでした。

次12番、川満玄治議員です。(2) 教育行政についてということで①市内の学校施設の地域開放についてということで、基本的には学校、今体育館や運動場に関しては一般開放を行っております。さらに進めて地域連携室や学校図書室についても開放できないかというようなご質問がありました。それについては検討していくということで、学校の教育課程の授業等に支障がない範囲内において積極的に開放していくと法律がなっていますので、そこを踏まえながら検討していくということでお答えをしたところでございます。③と④についても振られておりました

が、質問まで至りませんでした。④のほうでは給食センターの建設についてということで質問が出ております。現時点では、当初建て替えは急ぐだろうということは庁内で意思統一ができております。ただ、どこに建てるかということと、どの手法で行うかということが今庁内で鋭意検討がなされておりました、主にどの場所かということが今、すごく争点になっております。これまでは市有地、市が持っている土地の中でということの議論がございましたが、一部用地を取得してという話も出てきておりました、まだ、この辺りは結論が出ておりません。新年度少し動きが出てくるかなと思います。出てきた時点でまたこの辺りの話をしたいと思っております。答弁するとしてはそのような内容で答弁したかと思っております。

続きまして13番、(4)子育て支援についてということで、①小学校の給食費や教材費用など、保護者の負担軽減を図ることということで要望がなされておりましたので、給食費の軽減を図っておりますということでお答えをし、教材費用につきましては、まず給食費が各世帯の経済支援では効果が大きいですので、そこから取り組む、今後教材費用についても検討していきたいということで、お答えをしたところでございます。

次14番、赤嶺吉信議員です。地域文化の振興についてということで、①から④の質問がありましたが、①から③が教育委員会に振られております。これは糸満と豊見城の地先のほうに岡波島という島なのか岩礁なのかと言われている所があります。ここは、島では100万年前のクジラの化石と言われているものがあって、今この保全をどうするかということと糸満市が「ここは糸満市のものだ」と言っている事案になっておりました、具体的な動かしができていない状況です。状況としては、この文化財保護行政をやっている糸満の部署と本市の文化課については、前よりこれの保護の重要性の確認と、今後どうしていくかということについては継続的に協議を進めているところでありますけれども、具体的なアクションまで届いていないということと、今両市長と非公式にこれについては保全に向けて進めていこうねという方向性が確認されたということでしたので、本市としては新年度以降、文化課を通してこの文化行政を担当しているセクションと鋭意進めながら、クジラの化石の保全を第一に考えていくということで進めていくということでお答えをしているところでございます。

次に楚南留美議員、15番はなくて、16番宮城恵議員になります。(6)はたちの集いです。宮城恵議員も去年、実行委員をされていて、それで市で主催するべきではないかというような形でありました。今

回、本市が取り組んだ改善の点を確認して、反省の状況ですね。参加者の9割は各中学校ごとの開催がいいなというお声がありました。ただ、実行委員の中でやはり負担が大きいという声もあったこともあります。宮城恵議員から、当然今の参加者らは各中学校ごとでいいという感想になるということは理解できるけれども、やはり実行委員の負担が大きいということは重く受け止めて、今後改善してほしいということで市の主催にできないかというご質問です。これは亜矢子議員と視点は一緒だったかなと思っております。本市としても早めに実行委員会を立ち上げて、方向性については確認をしていくと、改善に向けていくということでお答えをしたところでございます。

次、瀬長宏議員、17番、18番は大田議員も含めて質問はございませんでした。

19番、伊敷議員は、(1) 教育行政についてということで、①学校給食費の保護者負担の状況についてということで状況を説明いたしました。②無償化を実施するべきと考えるがということで、これも国、県の状況を踏まえながら取り組んでいくということであります。趣旨としては、やはり中学校を無償化するべきであろう、中学生のほうをというようなお話と、先ほど備瀬委員もありましたように、今県の補助金と経済対策の負担金を使って保護者小・中3,000人に豊見城がしていることと加えて、これまで単独費で助成していたものを残して、さらに保護者の負担を軽減するべきだったのではないかと趣旨でのご質問でありました。本市としては、やはり財源に限りがあることで順調に行き、後戻りしないような議論の中で進めていきたいという思いで、現状としてはこの小学校、このような形が市としては効果があるということでお答えをしたところでございます。(1)の⑥保護者の負担軽減の観点から、小学校の始業式や終業式における式服の着用を見直してはどうかということでご質問を受けました。基本的にはほとんどの学校で式服を義務化していない、一方についてはそれでということで書かれていますが、これについては学校ごとの状況もありますので、これは学校にご判断をお預けしたいということでの答えをしたところでございます。

(4) 平和行政についてということで、②小中学校の平和教育については、成長に応じどのように取り組んでいるかということでご質問がありまして、低学年では絵本の読み聞かせを通して平和について考える機会を持っている。小学校高学年と中学校においては、戦争体験者の話をお伺いしたり、戦争について、平和について考える機会を持っていくということになっています。あと、海軍壕公園や平和祈念資料館、ひめゆ

	<p>り平和資料館での見学を通じて、平和に過ごすために自分ができることを考える機会を持っているということになっています。また次年度は戦後80年になりますので、県内での企画、また文化課のコンテンツも含めて周知していきたいということでお答えをしているところでございます。伊敷議員からは、見学先については対馬丸の記念館も意義深いものであるので、加えてはいかがかという提案をいただいていたところでございます。</p> <p>次20番、新垣繁人議員、(1) 令和7年度施政方針についてということで、学校給食の保護者支援事業について伺うということでありましたので、7年の支援状況について説明をしたところでございます。</p> <p>(4) 環境行政についてということで、本市給食センターから生じる残渣の処理がどのように行われているかということで質問がございましたが、ここは質問まで至りませんでした。これは本市の給食センターを処理している事業者が南城市のほうでこの残渣を処理する中で、処理過程の中でちょっと臭いが出て、周りに少し臭気の問題があるということがあったので、その処分状況がどうなのかということも含めての質問でありましたが、直前に説明をいたしまして、もしここに問題があるのであれば、きちんとした許可事業者でありますので、南城市のほうで対応していくということになるかなということでお答えをして、質問まで至らなかったというところもでございます。</p> <p>おおむね一般質問については以上であります。</p>
教育長	<p>部長、ありがとうございます。今事務局のほうから説明がありましたが、この内容についてご質問がありましたら、委員の皆さん、挙手をお願いいたします。下條委員。</p>
下條委員	<p>お疲れさまでした。質問の中で、給食費の無償のものがいっぱい取り上げられていたんじゃないかなと思っていて、備瀬委員からもございましたように、多分小学生はみんな中学校になるから制服とか、購入するものが増えてくるかなと思うので、今後また保護者の負担軽減につながるような施策を進めていただけたらなと思いました。</p> <p>あと1つは、給食センターの建設に伴ってなんですけど、以前もお願いしましたように、今後、教育長もおっしゃったようにダイバーシティ、インクルーシブの中でアレルギー食だけではなくて、ペースト食とかミキサー食の提供が県外でも進められているんですね。なので、そこのほうも新しく造るということもございますので、そこも引き続きスムーズにアクセスできるような取組をお願いしたいと思っております。よろし</p>

	くお願いします。
教育長	ほかにございませんか。宮城委員。
宮城委員	今、平和教育についてお話があったと思いますが、その成長に応じてどのように取り組んでいるかというところの返事の中、それと併せてなんですが、豊見城市は戦争当時捕虜の方々が住んだ場所であるとか、この身近にそれぞれの戦争当時の史跡というか、跡というか、豊見城市内にも結構あるようなんですが、そういう場所、そこの見学というか、そこへ足を運んでその当時の様子を見聞きするとかということなども、小学校における平和教育の中では教材化とまではいかななくても、平和教育に役立つそういう場所が実際に豊見城市にはあるので、そこもまた併せて、さっき文化課との取組をというお話もありましたが、そこら辺も連携をするとまたそれなりの成長に応じた、本当に身近な所からの刺激というのは大きいかと思うので、取り組んでいけるのかなということをお話を聞いていて思いました。検討できるのでしたら、そういうお話もまたどこかで話題にのせていただけるとありがたいかなと思います。以上です。
教育長	回答はないですか。
宮城委員	検討して進めていただければ。
教育長	ほかにございませんか。下條委員。
下條委員	いじめ防止対策マイスターという言葉が出ていたんですが、本市はやはりいじめの問題でいろいろあったと思うんですね。なので、こちらはモデル事業でやったらいいのかなと今見てて思ったんです。そのときに、さっき心理検査がhyper-QUを取り入れられているということで、そちらも学校満足感ですかね、多分アセスが適用、満足感だと思うんですが、QUは。それとは別にいじめの予防に対するアセスメントというのがB-SAFEというのがあると思うんですが、また別のアセスメントツールとしてあったんじゃないかなと思うので、そういうのをいろいろ取り入れられて、本市がこれほどいじめ防止対策で取り組んでいるよというのをアピールすることもできるチャンスかなと私は思って聞いていました。情報提供です。
教育長	では、質問は以上で終了としてよろしいでしょうか。
	(「はい」と呼ぶ者あり)
教育長	報告第1号 令和7年第2回豊見城市議会定例会一般質問については終了といたします。日程については以上となります。 それでは、その他連絡事項の説明を事務局からお願いいたします。

	(その他報告 反訳なし)
教育長	<p>ありがとうございます。質問はありませんか。</p> <p>では、今おっしゃっていただいた以外に、全般を通して気になること、また聞いてみたいことがありましたらお願いします。</p> <p>ないようでしたら、最後に次回の定例教育委員会の日程について、事務局説明をお願いいたします。</p>
教育総務課長	<p>次回の定例教育委員会については、令和7年4月28日月曜日、13時半より予定しております。よろしく申し上げます。</p>
教育長	<p>ありがとうございます。</p> <p>それでは、以上をもちまして第3回定例教育委員会の全日程を終了します。</p>

(署名欄)

教育長

赤嶺美奈子

教育委員

宮城伸子